



No. 205

令和4年2月1日発行  
滑川市議会  
☎(076) 475-2111  
E-mail:gikai@city.namerikawa.lg.jp

(タイトル：滑川高校3年 高田ありすさんの作品)



## 新たな15人の市民の代表

### 令和3年12月定例会一覧

<p>***** 令和3年12月定例会一覧 *****</p>	
	<p>開会 12月9日 閉会 12月23日 } 会期15日間</p>
	<p>○本会議（主な内容）</p> <p>9日 会期の決定 提案理由説明 補足説明 代表質問・一般質問</p>
	<p>16日 代表質問・一般質問 17日 一般質問</p>
	<p>23日 議案の委員会付託 委員長報告・質疑・討論・採決 追加提案 提案理由説明 補足説明 議案の委員会付託 委員長報告・質疑・討論・採決 閉会中の継続審査</p>
	<p>○委員会</p> <p>17・23日 議会運営委員会 17・20・23日 総務文教消防委員会 17・21・23日 産業厚生建設委員会</p>
	<p>○議案の審議結果</p> <p>予算（原案可決） 5件 条例（原案可決） 3件 その他（原案可決） 1件 陳情（趣旨採択） 1件</p>
合計	10件
<p>*****</p>	

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は3月です。



なめりかわ市議会だより

# 新たな市民の代表となった15名の議員を紹介します

3



1. 高川正樹 (49)  
2. 下梅沢  
3. 昆布じめ  
4. スポーツ観戦

2



1. 安達真隆 (47)  
2. 堀江  
3. ラーメン  
4. 射撃、スキー

1



1. 吉森真人 (40)  
2. 柳原  
3. カレー(ライスだけでなく全般的に)  
4. スポーツ観戦(特に大相撲)

1. 氏名・年齢  
2. 住所  
3. 好きな食べ物  
4. 趣味

(議員番号順に並んでいます)

※令和4年1月1日現在で作成しています。

7



1. 青山幸生 (39)  
2. 上梅沢  
3. 好き嫌いなし  
4. 読書、宝塚、ボクシング

6



1. 大浦豊貴 (43)  
2. 神明町  
3. ラーメン  
4. サッカー

5



1. 水橋真治 (61)  
2. 中川原  
3. 中華料理  
4. 読書、音楽鑑賞

4



1. 谷崎潤一 (51)  
2. 領家町  
3. お好み焼き  
4. 音楽全般

11



1. 岩城晶巳 (69)  
2. 追分  
3. めん類  
4. 名所、旧跡めぐり

10



1. 原明 (68)  
2. 宮窪  
3. お米  
4. ドライブ

9



1. 尾崎照雄 (67)  
2. 稲泉新  
3. ラーメン  
4. 野菜づくり、カメラ、読書

8



1. 竹原正人 (48)  
2. 栗山  
3. 味の濃くない料理  
4. ペットにエサをあげ通じない会話をすること

15



1. 高橋久光 (73)  
2. 小林  
3. 果物  
4. 園芸その他

14



1. 中川勲 (74)  
2. 北野  
3. カレーライス  
4. 野球観戦

13



1. 開田晃江 (71)  
2. 有金  
3. お寿司  
4. すいかづくり(畑) 野菜

12



1. 古沢利之 (67)  
2. 浜四ツ屋  
3. バイ貝の刺身  
4. 読書

# 議会構成が決定

一般選挙後初の議会となる「令和3年第3回臨時会」が11月30日に開催され、市議会を代表する議長の選出をはじめ、議会活動の体制が決まりました。

## 議長に高橋久光議員、副議長に尾崎照雄議員



高橋議長

一般選挙後初めて招集された議会であるため、地方自治法の規定に基づき年長の中川議員が臨時議長となり議事を進めました。

最初に議長選挙を行い、投票により高橋久光議員が議長に当選。続いて、新議長の議事進行により議席と会期の決定をしたのち、副議長の選挙を行い、指名推選により尾崎照雄議員が副議長に当選しました。

次に議会運営委員会と総務文教消防、産業厚生建設の各常任委員会の委員の選任を行いました。

また、AI・IoTなどの次世代情報通信技術の議会・行政における利活用やペーパーレス化に関する調査・研究を行うため、「情報技術調査特別委員会」の設置及び委員の選任を行いました。

続いて、議会報編集委員会委員及び広報広聴委員会委員の選任を行いました。

さらに、富山地区広域圏事務組合、滑川中新川地区広域情報事務組合、富山県東部消防組合の議会議員を選挙するとともに、都市計画審議会委員を推薦しました。  
議会構成を決めた後に、市長提出議案3件の審議を行い、市監査委員に原明議員を選任することに同意、滑川市の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定についてを可決、地方自治法第179条による専決処分を承認し、臨時会を閉会としました。

### 新しい議会構成

（◎委員長 ○副委員長）

#### ◆議会運営委員会

議会の円滑な運営のために、議会の日程や議会に関する規則など、必要な事項について協議し、意見調整を行います。各会派や無会派の議員から、6名選ばれます。  
議長はオブザーバーとして委員会に出席します。

- ◎岩城 晶巳 ○竹原 正人
- 大浦 豊貴 古沢 利之
- 開田 晃江 中川 勲

### ポイント

#### ★常任委員会

市の業務は幅広く、多岐にわたるため、効率的に調査、審査を行うために、専門的な委員会を設置しています。

総務文教消防、産業厚生建設の2つの常任委員会があり、議案や請願等の詳細な審査を行います。

各委員長は、本会議で審査結果を報告します。

#### ◆総務文教消防委員会

市の業務のうち財政、防災、総合計画、教育、生涯学習などを所管しています。

- ◎竹原 正人 ○中川 勲
- 安達 真隆 谷崎 潤一
- 水橋 真治 尾崎 照雄
- 開田 晃江 高橋 久光

#### ◆産業厚生建設委員会

市の業務のうち道路、上下水道、福祉、市民生活、商工業、農林水産業、観光などを所管しています。

- ◎大浦 豊貴 ○青山 幸生
- 吉森 真人 高川 正樹
- 原 明 岩城 晶巳
- 古沢 利之

ポイント

★特別委員会

市政における重要な課題について調査研究するため、特別に設置されます。

◆情報技術調査特別委員会

◎青山 幸生 ○大浦 豊貴  
吉森 真人 安達 真隆  
高川 正樹 谷崎 潤一  
水橋 真治 竹原 正人  
尾崎 照雄 原 明  
岩城 晶巳 古沢 利之  
開田 晃江 中川 勲  
高橋 久光 ※全議員

◆議会報編集委員会

なめりかわ市議会だよりの編集作業を行います。

◎岩城 晶巳 ○高川 正樹  
安達 真隆 水橋 真治  
大浦 豊貴 竹原 正人  
原 明

◆広報広聴委員会

ケーブルテレビNet3の議会コーナーの放映内容や、議会報告会の運営など、議会に関する情報発信を行います。

◎尾崎 照雄 ○古沢 利之  
吉森 真人 谷崎 潤一  
青山 幸生 開田 晃江  
中川 勲

◇滑川市監査委員

原 明

◇各組合議会議員

・富山区広域圏事務組合  
岩城 晶巳 高橋 久光

・滑川中新川地区  
広域情報事務組合

大浦 豊貴 青山 幸生  
開田 晃江 中川 勲

・富山区東部消防組合

竹原 正人 古沢 利之  
高橋 久光

◇都市計画審議会委員

大浦 豊貴 竹原 正人



12月定例会

市議会12月定例会は、12月9日から23日までの15日間の会期で開催しました。  
審議した案件は、令和3年度一般会計補正予算をはじめ、条例等の市長提出議案9件、陳情1件の合計10件です。  
審議の結果、市長提出議案の9件は原案どおり可決し、陳情は趣旨採択としました。

本会議

◇12月9日に本会議を開き、まず会期を決めた後に、予算及び条例等の市長提出議案8件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会の開いて担当部課長などから議案の補足説明がありました。

◇16日、17日は代表質問及び一般質問が行われ、13名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託しました。

◇最終日の23日には本会議を開き、総務文教消防・産業厚生建設の各常

任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

議案は一括して採決され、各常任委員長の報告のとおり賛成全員で可決しました。

次に陳情第1号について採決し、産業厚生建設委員長の報告のとおり賛成全員で趣旨採択となりました。

その後、市長より追加提案された議案第74号について、提案理由の説明があり、全体委員会での補足説明の後に所管の各常任委員会に付託を行いました。総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長から審査結果の報告があり、採決の結果、賛成全員で可決しました。

最後に閉会中の継続審査を決定して、12月定例会を閉会としました。

# 常任委員会での審査(主な質疑等) 各常任委員会への付託案件はP14をご覧ください。

## 総務文教消防委員会

慎重審査の結果、付託された4議案については、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

☆令和3年度滑川市一般会計補正予算(第5号)について

総合体育センター整備費及びスポーツ・健康の森公園整備費について

○無線LANを整備するとあるが、接続等で使い勝手の良いものとなる仕様となるのか。

○無線LANの仕様については、市庁舎内に設置したものを参考にしながら対応するものとし、総合体育センターでは1階の玄関、剣道場や2階の観覧席など数箇所、スポーツ・健康の森公園では、陸上競技場の管理棟、多目的広場の休憩所など数箇所にあるアクセスポイントを設けながら設置することとしており、接続方法については今後検討することとしている。



総合体育センター、スポーツ・健康の森公園

テニス村整備費について

○井戸水送水ポンプ更新工事の予算を計上しているが、2台あるうちの1台について以前故障してからの修繕工事であったと思うが、今回は修繕計画どおり更新年数が経過したためのものか。

○井戸水送水ポンプは2台あり、今回のポンプについては消雪装置に係るポンプで、更新年数が経過していることもあり、故障する前に更新するものである。

## 産業厚生建設委員会

慎重審査の結果、付託された7議案については、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。「陳情第1号」については賛成全員で趣旨採択と決定しました。

☆令和3年度滑川市一般会計補正予算(第5号)について

合併処理浄化槽について

○3箇年計画で山加積地区等の合併処理浄化槽の普及促進を行った成果はどうか。

○合併処理浄化槽は、開始の前は4割程度だったものが、最終年度の今年度は7割くらいになると想定している。

マスク配布について

○どのような経緯で決定したのか。

○市長が決めた。コロナ第6波へ

の心の準備として配布を行うものである。

○マスクの配布はどのように行うのか。

○12月末の市の広報の配布時に合わせて町内会に配布をお願いする。

○配布の際にポストに投函できないことも考えられることから、ドアノブに吊るせるように袋も併せて配布するなど、町内会の負担軽減に配慮して欲しい。

### 引き続き感染防止対策の徹底を

(飲食する時)

- ・感染防止対策が徹底された第三者認証店を利用
- ・会話の際のマスク着用、手指消毒、席の間隔確保等の対策を徹底
- ・大声での会話は控える

(外出・移動する時)

- ・混雑した場所や時間帯は避ける
- ・感染拡大している地域との往来は慎重に検討
- ・基本的な感染防止対策を徹底

(体調不良の時)

- ・体がだるい、熱がある、のどに違和感がある等の症状がある場合は、出勤や登校、外出や人に会うことは控え、速やかに医療機関を受診

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

☆陳情第1号「滑川市加島町2099の危険建築物の件について」

「陳情第1号」については、12月17日に委員会を開催し、陳情者からの趣旨説明を行うことを決定しました。

21日の審査においては、陳情者からの趣旨説明の後、市当局より「現在、相続財産管理人から市が当該建物・土地の寄附を受けた後、市で建物を取り壊す方向で関係者と協議を進めている。」との見解が示され、慎重審査の結果、賛成全員で趣旨採択すべきものと決定しました。

なお、「市当局には行政代執行に限らず、早急な対応をお願いしたい。」という意見を申し添えました。

日誌

日	3年11月	29日	30日	12月	2日	6日	9～23日	23日	24日	4年1月	7日	14日	19日	21日	25日
		全員協議会	全員協議会 第3回臨時会		議会運営委員会	産業厚生建設委員会協議会	定例議員協議会 12月定例会	議会報編集委員会	富山県東部消防組合議会 議員協議会・全員協議会・ 本会議(魚津市)		議会運営委員会協議会	産業厚生建設委員会協議会 定例議員協議会	議会報編集委員会 総務文教消防委員会協議会 議会運営委員会	全員協議会 第1回臨時会	産業厚生建設委員会協議会



12月定例会では13名の議員が質問を行い、47項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。  
(すべての質問等詳細を記録した会議録は、3月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定ですのでご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されており、ご利用ください。)

※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。

代表質問

代表質問



1 新型コロナウイルス感染症  
対策について  
2 今冬の除雪体制について  
3 県東部の警察署の再編について  
(会派＝会派自民) 中川 勲 議員



**Q** 政府は18歳以下の子どもに現金とクーポンを合計10万円給付するとのことだが、滑川市はどうする。

**A** 上田市長 児童手当受給者には年内に現金で一括支給する方向で進めている。児童手当受給者以外の申請が必要な方にも、手続を進め、早期に給付金を支給する。

**Q** オミクロン株が11月25日に南アフリカで確認されて以来、世界各国で次々に感染が確認されているが、市民への対策は考えているか。

**A** 網谷産業民生部長 市民への対策として、変異株であっても従来株と同様に手洗い・消毒・うがいの実施やマスクの着用、換気の徹底など基本的な感染予防策の徹底が最大の対策とされ、市広報、ホームページ、ケーブルテレビ等で周知する。年内に啓発用チラシとマスク一箱を全世帯に配布する。

**Q** 昨シーズンの1月の大雪を経験しての除雪計画なのか。

**A** 岩城建設部長 本年度の除雪計画は、ロータリー除雪車を使用した車道の拡幅やグレーダーを使用した圧雪処理を効率的に実施できるように、除雪機械を配備した。交差点除雪は、道路パトロールの強

化や県が設置した道路監視カメラを活用し、速やかに除雪業者に情報を提供する。さらに、富山気象台から3日先までの降雪量予測や、短時間の大雪に対して一層の警戒を呼びかける情報などが発信される気象情報にも注視し、関係機関と連携を図った除雪計画である。

**Q** 県東部警察署の再編計画について、子どもや地域の安全、安心を脅かす重大事件、事故が相次いで発生したことを受け、合理的な警察力の配置や支援強化について検討されているが、どのようなものか。

**A** 石川副市長 令和2年9月に県警察の機能強化を考える懇話会が設置され令和3年2月に提言がまとめられた。1点目は、隣接する小規模警察署を統合し、中規模以上の警察署に再編し総合的な治安機能の強化を図るということである。2点目は、統合される警察署の建物は、分庁舎として一定の機能を維持する。現在の交番、駐在所はそのまま維持する。3点目は、ICT技術等の積極的な導入等。パブリックコメントを実施し、今年度末までに再編の方向性を示したいとのことであった。

代表質問



1 新型コロナウイルス感染症対策について  
 2 除雪について  
 3 子育て支援について  
 4 スポーツ振興について  
 (会派 自民党令和会) 竹原 正 人 議員



**Q** 新型コロナウイルススワクチンの3回目接種のタイムスケジュールと対応について見解は。

**A** 網谷産業民生部長 3回目の新型コロナウイルススワクチン接種については、現在のところ、2回目接種完了後から8か月を経過した18歳以上の方を対象として、約2万5千人を見込んでいます。

**Q** 未だ何らかの理由でワクチン接種を一度も受けていない市民の皆様への対応を今後どうするか。

**A** 網谷産業民生部長 12歳に到達する接種対象者や、事情により接種を見合わせていた方々などの接種機会を確保するため、今後も初回接種に対応できるよう、2医療機関で接種できる体制とする。

**Q** 3回目ワクチン接種での交差接種の不安解消について見解は。

**A** 網谷産業民生部長 接種時期によつては1、2回目と異なる種類のワクチン接種となり、交差接種が発生する見込みである。市として、市民の皆様へ分かりやすく情報提供し、交差接種を正しく理解して、安心・安全で円滑な追加接種の推進に努めてまいりたい。

**Q** 市所有の除雪機械について、来

年度以降の更新スケジュールは。

**A** 岩城建設部長 現在、市が所有する除雪機械は18台ある。昨シーズンの大雪も踏まえ、有利な財源等があれば、除雪計画や除雪体制等も考え、積極的に除雪機械の配備について検討したい。

**Q** 今定例会で、新型コロナウイルス子育て応援臨時交付金の内示に伴う財源構成が600万円あまり計上されている。更なる子育て支援策への流用は考えていないのか。

**A** 上田市長 市民の要望やニーズを捉え、子どもと子どもの親のための支援につながるよう十分検討することとして、引き続き調査研究をしていく。

**Q** 将来、滑川市からオリンピックに出場する選手を輩出するため、具体的な対策とハード面、ソフト面での課題をどう捉え、スポーツ行政の推進につなげていくのか。

**A** 上田教育委員会事務局長 ジュニア層から社会人選手まで国内外での活躍が期待される選手への支援策等について、先進地等の調査研究をしており、優秀選手への支援策について検討したい。

年度以降の更新スケジュールは。現在、市が所有する除雪機械は18台ある。昨シーズンの大雪も踏まえ、有利な財源等があれば、除雪計画や除雪体制等も考え、積極的に除雪機械の配備について検討したい。

一般質問



1 市職員の役割と働き方について  
 2 行政のDXについて  
 3 通学路の点検について  
 4 市民会館大ホールについて  
 尾崎 照 雄 議員



**Q** 公務員の定年が65歳に引き上げられることになった。10年近くの移行期間を経て制度が完成の予定であるが、退職者が大幅に減っていくということ、総人件費が相対膨らむのではないか。

**A** 櫻井総務課主幹 定年の引上げ期間中であつても行政サービスを将来にわたり安定的に供給するために、一定の新規採用を継続的に確保する必要がある。職員数についてはは一時的に増加する可能性もあるかと思うが、60歳超の職員の給与水準については、条例において60歳時点の原則7割に設定する予定であり、総人件費の大幅な増加は見込んでいない。

**Q** 国のデジタル化推進に対応した戦略なり計画的な対応が必要と考えるが、見解は。

**A** 相沢企画政策課主幹 総務省は自治体が重点的に取り組む事項、内容などを自治体DX推進計画として公表している。デジタル化推進班において、こういった取組を含めた新しい生活様式に合わせた行政サービスの提供や地域社会のデジタル化の推進など、国の推進計画と併せた5か年の内部的な工程

を定めて取り組んでいる。  
**Q** LINEの活用の検討について尋ねる。  
**A** 相沢企画政策課主幹 LINEの有用性については市としても認識している。情報発信など、可能なところから始めていきたい。  
**Q** 通学路の点検について、対策の検証が非常に大切ではないか。  
**A** 椎名学務課長 危険箇所として点検を行った箇所については、対策後も状況把握に努めている。必要に応じて引き続き関係機関と相談し、安全対策の実施について継続して検討する。  
**Q** 市民会館大ホールの建て替えについて、当局から積立金が10億円に達した段階で総合的に勘案し、決定したいとの見解が示された。10億円が見えてきた今、検討のスケジュールすら想定しないということ、言行不一致ではないか。  
**A** 相沢企画政策課主幹 積立てを継続する中で、ホールの目的や稼働率、他市の事例、そういったものを併せて引き続き検討することとしているものであり、今後またどのような形で検討していけばいいか考慮していきたい。

一般質問



1 地域コミュニティを維持することについて  
2 安定的な財源の確保に向けて  
3 都市計画道路橋場国道線の整備について  
青山 幸生 議員



Q 東加積小学校は現在2年生、3年生が複式学級となっている。学習状況に問題はないか。

A 椎名学務課長 東加積小学校は2年生4名、3年生7名の計11名の児童が複式学級で学んでいる。ほぼ毎時間、担任と他の教員、スタディメイト等の複数の教職員できめ細かな指導に当たり、個を磨き育てる教育活動を引き続き進める。

Q 特色もなく、差別化もなく、魅力的でもない場合は、転入する児童は増えない。複式学級という状況を見て、なおさら入学をためらう状況になっていると思うが。

A 椎名学務課長 一部保護者から複式学級を解消することについての声は伺っている。県の基準に沿って学級編制しており、足りないところはいろんな支援を考えているところである。

Q 地方交付税は、どの地域に住んでも一定水準の行政サービスを受けられるよう財源を保障するための制度である。よって日本全体の景気に大きく関係する。本市の今後の地方交付税の見通しは。

A 奥村財政課主幹 経済財政運営

と改革の基本方針2021において一般財源総額は今年度の地方財政計画の水準を下回らないよう確保すると認識している。地方交付税については、臨時財政対策債の発行可能額と合わせて、市税等の増減によって算定上、影響を受けると考える。

Q 今後、滑川市として伸ばしたい市税はどの市税なのか。

A 丸山税務課長 市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税の中では、令和3年度当初予算における歳入のうち、約17%と最も高い割合を占める固定資産税を伸ばしたい。

Q 都市計画道路橋場国道線の整備について、進捗と開通予定は。

A 高倉まちづくり課長 当該路線については、通学路に指定されているが、歩道の整備をしていないことから、令和2年度に国の事業認可を受けて、歩道の確保や信号機の撤去に伴う交差点の道路改良に着手している。早期完成に向けて着実に整備を推進することとしているが、遅くとも隣接する複合施設の完成予定の令和4年9月までには完了したい。

一般質問



1 ICT教育について  
2 小規模特認校制度(東加積小学校)について  
3 地域コミュニティの活性化について  
4 市民との対話について  
吉森 真人 議員



Q 学校ごとにタブレットの活用の仕方にバラツキがあると聞くと、どのような指導もしくは判断をされているのか。

A 伊東教育長 タブレットは学習の道具として、これまでの鉛筆やノートと同じように新たな文房具の一つとして、まず使ってみる、慣れ親しむということから活用してもらいたいと考えている。平成30年に滑川市教育情報化推進計画を策定しており、それに基づき進め、その後も改定したり、ガイドラインを作成したりして計画に基づいて実施している。

ICT教育については、ICT教育推進協議会さらには各校代表者での推進委員会を編成しており、学年ごとに目標を定め学ぶ範囲を決めているのでそれを参考にしてもらっている。

Q 滑川市としては複式学級について今後どのようにするのか。

A 椎名学務課長 来年度の学級編制については確定していないので回答は控えるが、県の基準に合わせていくことになる。それに対して滑川市としても県教育委員会と連携しながら支援を考えたい。今年度のうちに他校と兼務している教員、支援員の他、スクールサポートスタッフやスタディメイトを配置し安心安全な学校生活を送れるように支援していく。

Q 地区や町内でのイベントの開催に対する補助金、協力金を伺う。

A 相沢企画政策課主幹 例えば地区であれば、公民館事業委託という形でふるさと教育、ふれあい活動といった目的に対して費用助成をしている。町内会へは、地域課題の解決に向けた取組のきっかけづくりとして「みんなで作る協働のまち推進事業交付金」というものを設けている。

Q 滑川市独自の市民との対話会(ビジョンセッション)の開催を考えたらいかがか。

A 相沢企画政策課主幹 県のビジョンセッションのような共通の課題をテーマに、市民同士が議論を重ねて解決の糸口を見つけ提案するといった、提案型のワークショップもまちづくりにおいては有効と認識しており、今後どのような形で設ける機会があるかも含めて勉強していきたいと考えている。

一般質問



水橋 真治 議員

- 1 学校教育全般について
- 2 大雪での安全対策について
- 3 空き家の安全対策について



**Q** コロナ禍の中で、タブレット端末はどのように活用されているのか。活用の課題はないのか。

**A** 椎名学務課長 児童・生徒がノートのように必要な場面で活用している。課題として、児童・生徒自身がネットルールを理解することがある。使用量が増え回線容量の余裕が少なくなることや家庭への対応を検討している。

**Q** コロナ禍の中でのいじめ対策や道徳教育・人権教育はどのように行ったのか。

**A** 椎名学務課長 日常的に教職員全体で対応している。児童・生徒間の信頼関係、児童・生徒と教職員の信頼関係づくりを大切にしていく。道徳教育では、自尊心や自己有用感を高める指導を行っている。人権教育では、コミュニケーション能力や互いを知り理解する力を高める教育を進めている。

**Q** 大雪の場合に、生徒の通学にコミュニティバスを活用することはできるか。

**A** 石坂生活環境課長 自宅の近隣等にバス停があれば利用することは可能である。大雪に際して、通

学のために運行時間や運行ルートを一時的に変更することや児童・生徒のためだけに運用することは難しいと考えている。

**Q** 大雪で除雪車が入りにくい道路について除排雪する工夫はなされているのか。

**A** 北島建設課長 市は全ての市道を除雪することができないことから、住民が自主的に共同で行う市道の除排雪を促進するため、町内会等で組織する除排雪組合に除雪機械購入の経費に対し補助を行う制度がある。本制度を利用し、除雪機械が入ることができない道路等の除排雪を地域住民の協力により実施していただくようお願いしている。

**Q** 空き家について何らかの対応をされているのか。将来を見据えた空き家対策は検討されているのか。

**A** 数岸空家等居住対策課長 住民ニーズを把握し、住民に寄り添った対応を心がけている。市広報紙やケーブルテレビでの啓発、出前講座の実施などを通して、市民意識の醸成に取り組んでいる。管理されない空き家を未然に防ぐ対策を一層進めたいと考えている。

一般質問



大浦 豊 貴 議員

- 1 空き家対策について
- 2 防災計画について



**Q** 空き家が発生し、その状態が長期化する要因として、法制度面における固定資産税の住宅用地特例により除却が進まないケースがある。不動産の流動化を促す観点から、計画重点地域とする用途地域内の空き家除却に係る固定資産税の減免制度を検討できないか。

**A** 数岸空家等居住対策課長 空き家を除却することで住宅用地特例が解除され、税負担が増えることも管理不全の空き家の長期化する原因と一般的に言われ、本市においても、このことが原因で放置されているケースもあると思われるが、そもそも対応できないケースや、除却に至るまでの調整が進まないケースが多い現状である。このことから、減免措置については、他の非住宅用地との税負担の公平性の観点から導入は考えていない。

**Q** 令和3年5月に災害対策基本法施行規則及び福祉避難所の確保・運営ガイドライン等の改正が行われた。平時の取組なくして災害時の緊急対応を行うことは不可能との認識から、福祉避難所について市町村を中心として、取組を進めることとしているが、本市の取組

見解について問う。

**A** 石川福祉介護課長 国の規則改正の趣旨を踏まえ、令和3年9月13日に受け入れ対象者を要配慮者として、各福祉避難所と緊急連絡体制の確認を定期的に行い、非常時の受け入れが円滑に進むよう情報交換を行っている。

**Q** 受け入れ対象者の調整等を図るうえで、支援者の調整が必要になるのではないか。

**A** 石川福祉介護課長 現要配慮者の中でも、高齢者が多くなると想定される。今後、障害者の方など受け入れ可能な施設を別に指定していかなければならないと考える。

**Q** 災害発生時における財政出動額の見解について問う。

**A** 奥村財政課主幹 財政調整基金や留保分の繰越金などの一般財源での対応が必要と考える。財政調整基金については、条例で定める基準額以上を確保することで、初動に対応すると考える。

**A** 上田市長 県もさることながら、市は市で早期に対応できる体制を取っておくべきと考え、緊張感をもってやりたいと思う。

一般質問



- 1 新型コロナウイルス感染症対策における  
小学校中学校の現状について
- 2 自然災害対策について

谷崎 潤一 議員



**Q** 滑川市内の小学校及び中学校の児童生徒の健康管理や心のケアの進捗状況はどうか。

**A** 椎名学務課長 今年度は市内小中学校で、コロナ禍の中でも感染症予防対策を徹底したうえで、できる限り子どもの学びを保証してきた。特に子ども自身の成長に大切な体験活動、集団での協働活動、運動習慣づくり等を大切にしていた。現在、休み時間にグラウンドに出て元気に遊ぶ子どもたちの姿も戻ってきている。

環境の変化等が理由で心身への影響が出ている子どもたちについては、担任や養護教諭のほか、管理職、生徒指導主事、特別支援コーディネーター、通級指導教員、カウンセラー、スクールソーシャルワーカー等がチームとなり、子どもたちの様々な不安や心配を取り除くための面談や適切な支援を行っているところである。

**Q** コロナ禍における子どもたちの状況を理解しているのか。

**A** 椎名学務課長 学校と市教育委員会、市教育センターが連携し、コロナ禍における各校での自宅待

機児童・生徒の出席状況、また環境の変化に伴う心身への影響により支援が必要な子どもたちの様子や事案について、緊密に情報共有している。

**Q** 備蓄倉庫の数は妥当か。指定された避難所に簡易的または本格的な備蓄倉庫の設置の検討はできないのか。

**A** 櫻井総務課主幹 災害時用備蓄品については、滑川消防署横の備蓄倉庫と田中小学校の備蓄倉庫の2か所に分散して備蓄している。そのほかにも民間団体と災害救助物資の供給等に関する協定を締結しており、災害時には保管物資と合わせてそれらを活用する体制を整備しているところである。

避難場所を開設する可能性の高い各小中学校の体育館には、さらなるスペースを確保することは難しい状況である。

今後、備蓄量の見直しや強化を図る際などに併せて検討してまいりたい。

一般質問



- 1 中滑川複合施設について
- 2 ほたるいか海上観光について
- 3 ウォーキングサッカーについて

高川 正樹 議員



**Q** 6月定例会の中滑川複合施設についての代表質問に対して、国庫補助金の影響として、にぎわいに係る地方創生拠点整備交付金については、災害の発生などやむを得ない場合を除き、繰越しは難しく、本年度内での出来高に応じた交付金となることであったが、工事の出来高における国庫補助金等、財源確保の見込みについて伺う。

**A** 高倉まちづくり課長 本事業の特定財源に当たる国庫補助金の取扱いについては、にぎわい創出に係る地方創生拠点整備交付金は、当初、災害の発生などやむを得ない場合を除き、今年度内での工事の出来高に応じた交付金としていたが、県担当課等と粘り強く協議を重ねた結果、今回の事業の遅れた要因は、新型コロナウイルスの影響によるものとして、繰越しの手続きが進められることになり、11月に全額繰越しの承認をいただいたところであり、国庫補助金については交付決定額どおり見込まれる。

**Q** ほたるいか海上観光に伴うお客さんへのサービス等について伺う。

**A** 小川観光課長 ほたるいか海上

観光におけるお客さんへのサービスとして、出航、欠航を問わず、海上観光特設パネル前での記念写真の撮影及びその写真のプレゼントや、ホタルイカの水揚げ見学を引続き実施するほか、欠航時にほたるいかミュージアムの全館を見学していただき満足度の向上に努める。

**Q** 日本サッカー協会相談役の川淵三郎さんの滑川市での講演をきっかけに紹介いただいたウォーキングサッカーは、2019年から川淵三郎杯として毎年大会を開催しており、今回で3回目となった。今後、さらなるウォーキングサッカーの普及活動について伺う。

**A** 上田教育委員会事務局長 これまで悠友クラブやスポーツ推進員を中心に普及活動を進めてきたところであり、今年度から小学生を対象としたジュニア体験会を開催した。引き続き日本サッカー協会の協力を得ながら関係団体との連携を深め、定期的な実技講習会の実施や参加者の募集を県内全域に広げるなど、一層の普及振興に取り組む。

一般質問



- 1 コミュニティバス事業について
- 2 有害鳥獣問題について

安達 真隆 議員



**Q**電話でバスの予約をして、その予約があったときにそこへ向かうというデマンド方式はどうか。

**A**石坂生活環境課長 デマンド型交通については、事前の予約によって、自宅と目的地を効率的に移動することができると、利用者のニーズに応じた柔軟な運行が可能で、公共交通システムである。今後、デマンド型交通の検討に際しては、運行ルートごとや便ごとの利用実績などを踏まえ、議員提案の方法も参考とさせていただきます。

**Q**自由乗降、フリー乗降について問う。

**A**石坂生活環境課長 路線上においてバス停以外の任意の場所でコミュニティバスに乗り降りできる自由乗降は、利用者にとって利便性の高いものとして認識している。自由乗降は、バス停以外での停車による運行の遅れや安全確保などが懸念されることから、それらの問題点について、他の自治体の事例研究や滑川警察署との協議を重ねながら、導入に向けて具体的に検討したいと考えている。

て、銃の免許取得の計画や、他市では消防職員の方が所持しているところもあるが、滑川市ではどのような方向で考えているか。

**A**黒川農林課長 滑川市鳥獣被害対策実施隊の隊員数は18名で、猟銃免許取得者は8名、わな猟免許取得者も8名である。また、隊員のうち7名が農林課職員であり、今年度も1名の職員がわな猟免許を取得する予定である。実施隊員に8名猟銃免許取得者がおられることから、現在のところ、市職員の猟銃免許取得について考えていない。



**Q**滑川市上小泉旧国道8号のカラスについて。

**A**黒川農林課長 カラスなどの糞害、騒音等苦情があった場合は、市職員や滑川市鳥獣被害対策実施隊による追い払い、捕獲活動を実施しているところであり、今後とも関係機関と連携して、有効的な被害防止対策がないか研究していきたい。

一般質問



- 1 灯油高騰対策について
- 2 介護保険について
- 3 無料低額診療について

古沢 利之 議員



**Q**灯油の価格が高くなり深刻な影響を与えている。多くの自治体で灯油購入への助成を行っている。本市でも実施すべきでないか。

**A**石川福祉介護課長 灯油購入助成は現在考えていない。国の臨時特別給付金制度など、様々な支援制度を活用して支援したい。

**Q**残念な姿勢だ。それに加えての石油価格高騰だ。

**A**石川福祉介護課長 県内での市町村の判断は様々だ。

**Q**国では、自治体が行う原油価格高騰対策に、特別交付税措置をとる。早急な対応が必要だ。

**A**石川福祉介護課長 交付税措置の件は承知しているが、現在のところそれをもっても考えていない。

**Q**介護施設に入所している低所得者の食費などを軽減する、補足給付の制度が厳しくなった。利用者どう影響が出ているか。

**A**石川福祉介護課長 8月から負担の見直しが行われた。影響を受けた利用者は市内で約60人おり、一人当たり、約1万9千円の負担増になった。

**Q**補足給付は、所得の少ない入所者が困難にならないように始まっ

た。相談等はないか。あったらどう答えるか。

**A**石川福祉介護課長 これまで特に相談はない。国での改定なので、趣旨について説明したい。

**Q**関係団体は、国に再度の見直しを求めている。市としても要望すべきではないか。

**A**石川福祉介護課長 そういった声が高まるようなら、市からも訴えていきたい。

**Q**テレビで無料低額診療が紹介された。経済的に困窮する人にも医療を提供する事業だ。利用者が増えている。滑川市の相談件数は。

**A**石川市民課長 生計困難者が、必要な医療を受けられるよう、無料または低額で診療を行うもので、県内3病院、2診療所で実施されている。市内での相談は年一〜二件である。

**Q**県西部では数千件の相談がある。知られてないと考えるのが自然だ。

**A**石川市民課長 医療保険担当と福祉介護課が連携しての制度の周知が必要と考えている。その他質問  
・ 国保法44条による窓口負担減免について  
・ 生産者米価下落について

一般質問



1 医療の充実について  
2 教育について  
3 交通安全について  
4 農地について

開田 晃江 議員



Q 5歳から11歳の子どものワクチン接種はいつ頃からか。

A 結城市民健康センター所長 小児用ワクチンが薬事承認に至った場合には、早ければ令和4年4月頃から接種開始となる可能性がある。

Q どのような接種体制か。

A 結城市民健康センター所長 小児にとつて安心、安全な環境として、医療機関での個別接種を想定している。

Q 市内の小児科病院が1箇所閉院された。大きなダメージである。厚生連滑川病院に外来を増やしてもらう考えはないか。

A 石川市民課長 市としても増やしてもらいたいと考えているが、正式な申し入れは行っていない。

A 上田市長 指摘もつとも困っている。医師の確保が喫緊の課題であり、動く。

Q 産後うつなど特別なフォローの必要な人がおられるかどうか。

A 結城市民健康センター所長 富山広域連携事業として利用が可能となっている、まちなか総合ケアセンターの今年度の産後ケア応援室の利用実績は3人である。

Q タブレット教育が進む中で、ど

のくらの通信容量が必要か。現在はその何%ぐらいの設定か。改善しないのか。

A 椎名学務課長 現在の回線は1ギガの契約になっており、その3分の1、4分の1の使用量になる場合が考えられる。

Q 県道富山滑川魚津線と市道有金下梅沢線の交差点への信号機設置について、県警との交渉はどのようになっているか。

A 石坂生活環境課長 一番重要な設置場所ということで、市長自ら県の方へ要望している。

Q 新しい農地の活用には有機野菜栽培など、市が推奨してはどうか。

A 黒川農林課長 国の方針として、みどりの食料システム戦略が令和3年5月に策定されている。有機野菜、有機米を学校給食へ推進することも盛り込まれているため、有機農業等に取り組む生産者に支援していきたい。

A 上田市長 学校給食のお米は全部無農薬という理想を持っている。子どもたちに安全な米を。

一般質問



1 滑川市の下水道事業のこれまでの進捗率の状況は。  
2 野生鳥獣被害について  
3 今回の滑川市議会議員選挙を振り返って

原 明 議員



Q 滑川市の下水道事業のこれまでの進捗率の状況は。

A 長瀬上下水道課長 令和2年度末の下水道の進捗率は、公共下水道事業、農業集落排水事業と合わせて90・86%となっている。

Q 市内全域での下水道事業の完成はいつ頃となるか。

A 長瀬上下水道課長 国は、令和8年度を目途に汚水処理を概成させる方針であり、市においては令和6年度までの概成を目標としている。

Q 最終処理施設の長寿命化対策や災害に対する対応は。

A 長瀬上下水道課長 長寿命化対策については、滑川市公共下水道長寿命化計画に基づき更新工事を実施している。令和2年度には、国の支援制度に基づくストックマネジメント計画を策定し、改築更新工事を実施している。

Q 令和3年度の野生鳥獣被害の状況は。

A 黒川農林課長 今年の農作物被害は、イノシシによる水稲被害が発生しており、10月末現在で被害面積が957アール、被害金額は1千42万6千円との報告を受けている。

イノシシでの農作物被害の状況を昨年と比べると、被害面積で336アール、被害金額で381万7千円の増加となっている。

Q イノシシによる被害の防止対策は。

A 黒川農林課長 市道にグレーチングを設置し、地域にイノシシを入れないといった対策が、人に対する被害の防止となる。鳥獣被害対策実施隊等と連携協力し、被害防止対策を実施していきたい。

Q 過去最低の59・57%の投票率をどのように分析し、投票率向上対策は考えているか。

A 伊井監査委員事務局長 投票率は、一般的には選挙の争点、候補者の顔ぶれなど、様々な要素が総合的に影響するものと考えている。今回の市議会議員選挙はコロナ禍での選挙であり、衆議院議員選挙と近接したため、投票行動に影響があったと考えている。市明るい選挙推進協議会と協力し、啓発活動を粘り強く、創意工夫を凝らし投票率の向上に努めていきたいと考えている。



## 議決結果

議案番号	議案内容等	委員会	採決結果
議案第63号	滑川市監査委員の選任について(第3回臨時会)		原案同意
議案第64号	滑川市の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について(第3回臨時会)	総	原案可決
議案第65号	地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて(第3回臨時会)	総産	原案承認
議案第66号	令和3年度滑川市一般会計補正予算(第5号)	総産	原案可決
議案第67号	令和3年度滑川市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第68号	令和3年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	産	原案可決
議案第69号	令和3年度滑川市下水道事業会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第70号	滑川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第71号	滑川市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第72号	滑川市工業振興条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第73号	滑川市民交流プラザの指定管理者の指定について	総	原案可決
議案第74号	令和3年度滑川市一般会計補正予算(第6号)	総産	原案可決
陳情第1号	滑川市加島町2099の危険建物の件	産	趣旨採択

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。

※委員会…総：総務文教消防委員会、産：産業厚生建設委員会



左記QRコードから  
YouTube滑川市議会  
チャンネルにアクセス  
できます。

## 賛否一覧表

第3回臨時会、12月定例会は全員賛成だった  
ため賛否一覧表は掲載しません。



【議会報編集委員】  
岩城晶巳委員長  
高川正樹副委員長  
安達貞隆委員  
水橋真治委員  
大浦豊貴委員  
竹原正人委員  
原明委員

議会改選に伴い新しいメンバー  
で議会だよりを作成することな  
りました。よろしく願います。  
「市議会だより」について、皆さ  
んのご意見をお寄せください。  
電話 475-2111  
(内線371)

議会報編集委員会から